

# 株式会社 トリケミカル研究所

## 第32期(2010年1月期)

### 決算説明資料

大阪証券取引所ヘラクレス市場

証券コード:4369

## 目次

<b>1. 2010年1月期連結業績</b>	<b>3</b>	<b>2. 中期経営計画</b>	<b>21</b>
2010年1月期連結業績の概要	4	中期経営計画の前提	22
財政状態の概要(貸借対照表)	5	中期経営計画(数値目標)	23
財政状態の概要(キャッシュ・フロー)	6	中期経営計画重点戦略:	
売上分析(ユーザー地域別)	7	製品戦略	24
売上分析(製品用途別)	8	中期経営計画重点戦略:	
売上分析(Si半導体)	9	地域戦略	25
売上分析(半導体向け先別)	10	中期経営計画:達成に向けての課題	26
<b>2. 2011年1月期業績計画</b>	<b>11</b>	中期経営計画:経営構造の改善	27
2011年1月期連結業績予想	12		
2011年1月期連結業績予想(半期毎)	13		
2011年1月期通期戦略	14		
2011年1月期売上増減要因	15		
2011年1月期売上分析(ユーザー地域別)	16		
2011年1月期売上分析(製品用途別)	17		
2011年1月期売上分析(Si半導体)	18		
2011年1月期売上分析(半導体向け先別)	19		
2011年1月期営業利益増減要因	20		

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績とは大きく異なる可能性がございますことをあらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

## 1.2010年1月期連結業績

## 2010年1月期連結業績の概要

単位：百万円

	09.1期	10.1期	前期比	09.3.13計画	計画比
売上高	3,244	2,397	-26.1%	2,410	-0.5%
営業利益	371	-131	—	-140	—
経常利益	321	-168	—	-175	—
当期純利益	150	-153	—	-181	—

- ！ 売上・各利益ともにほぼ計画通りの着地
- ！ 年度の前半に売上・利益ともに大幅な落ち込み
- ！ 後半持ち直しは見られたもののリカバリーには至らず

## 財政状態の概要(貸借対照表)

単位:百万円

	09.1期末	10.1期末	増減額
流動資産	1,872	1,746	-126
固定資産	2,181	2,220	39
資産合計	4,053	3,966	-87
流動負債	1,385	1,393	8
固定負債	276	377	100
負債合計	1,661	1,770	108
株主資本	2,406	2,209	-196
評価・換算差額等	-14	-13	0
純資産合計	2,391	2,195	-196
負債純資産合計	4,053	3,966	-87

### 主な増減要因 流動資産

 在庫調整の進展に伴うたな卸資産の減少 **-178**

### 固定資産

 第二工場用設備等取得による有形固定資産の増加 **+33**

### 固定負債

 設備資金の調達による長期借入金の増加 **+91**

### 純資産

 純損失計上及び配当金支払いによる利益剰余金の減少 **-174**

## 財政状態の概要(キャッシュ・フロー)

単位:百万円

	09.1期	10.1期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	400	111	-289
投資活動による キャッシュ・フロー	-584	-391	192
財務活動による キャッシュ・フロー	279	202	-77
現金及び現金同等物の 増減額	90	-78	-168
現金及び現金同等物の 期末残高	220	142	-78

### CFの状況等 営業CF

償却費計上、たな卸資産減少	+425
税前純損失計上・売上債権増加	-279

### 投資CF

第二工場設備等固定資産の取得	-390
----------------	------

### 財務CF

長短借入	+248
配当金支払	-21

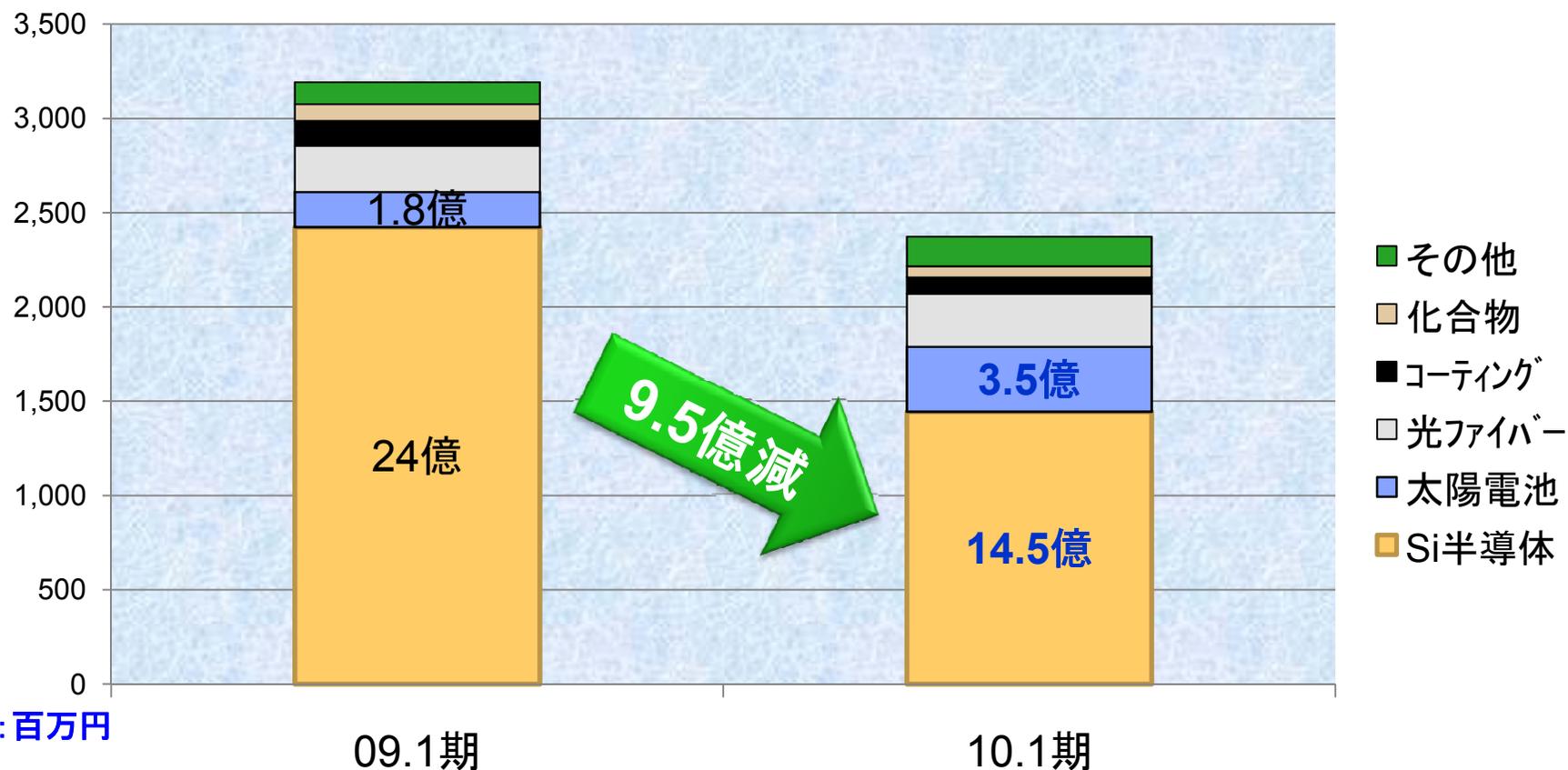
## 売上分析(ユーザー地域別)



**！台湾向け売上が半減(約6億円)**  
**！日本向け売上は微減(1億円弱)**

※当社推定による概算値

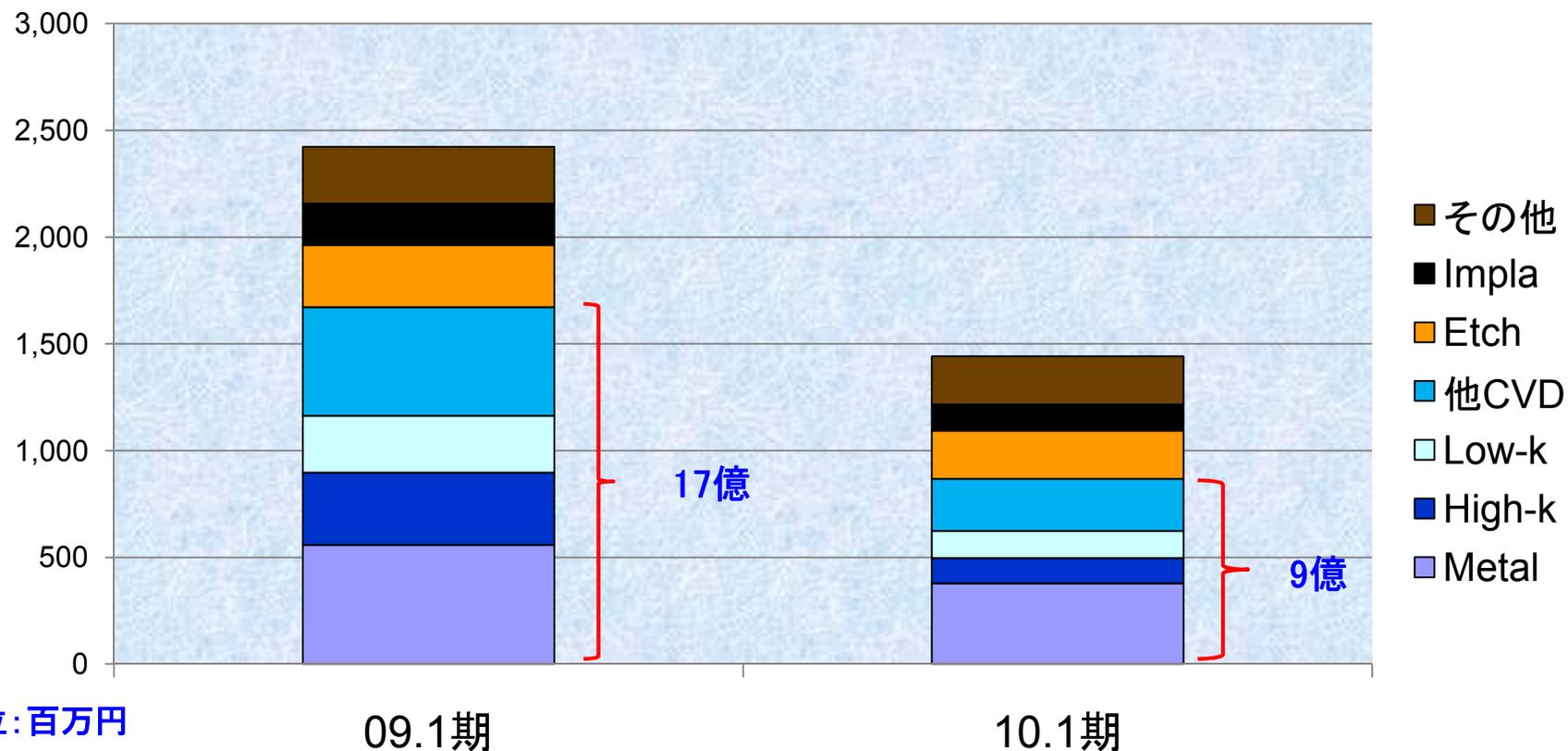
## 売上分析(製品用途別)



※当社推定による概算値

**！ Si半導体向け売上の減少(約9.5億円)**  
**！ 太陽電池材料は目標未達も倍増**

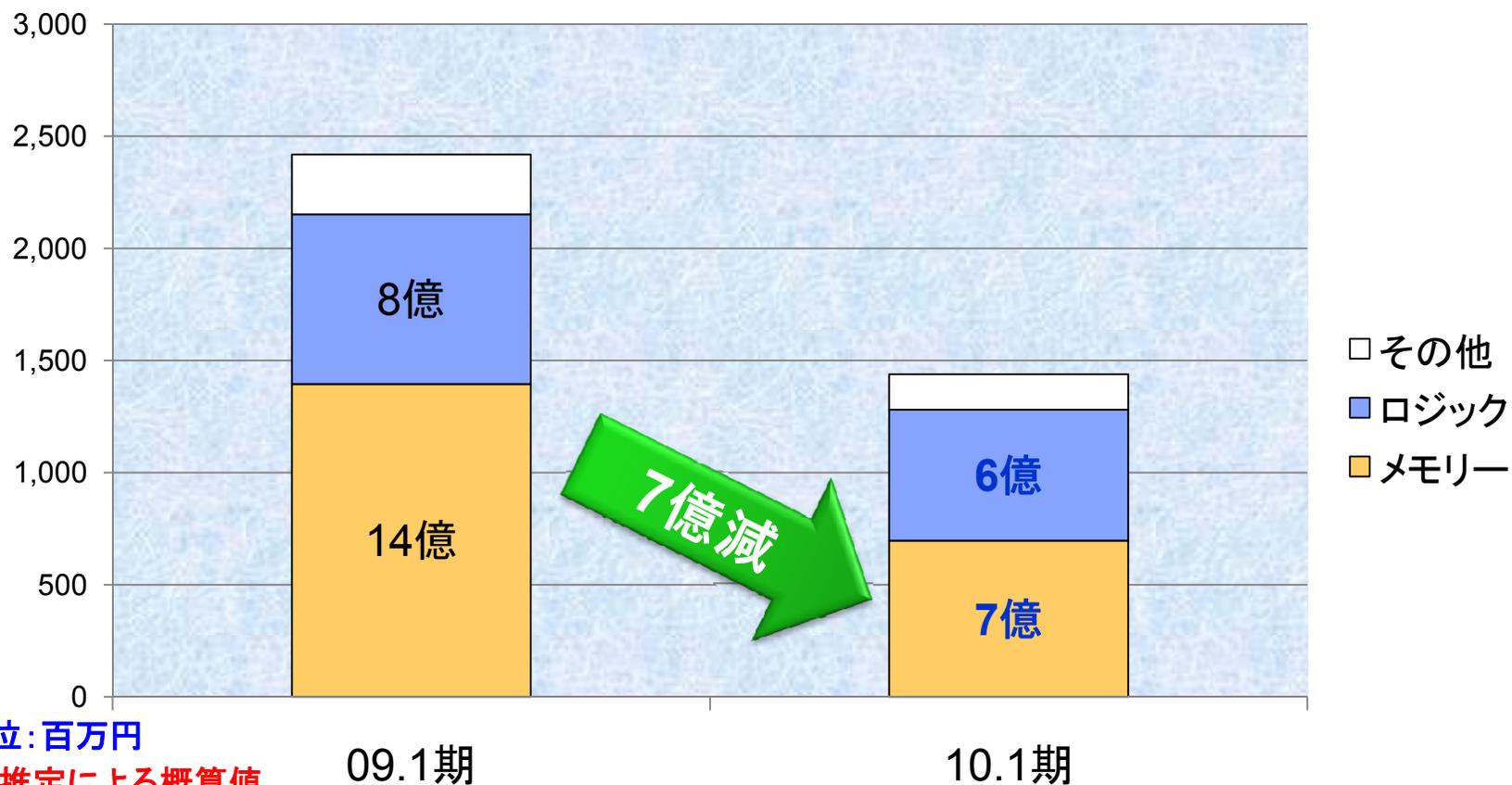
## 売上分析(Si半導体)



※当社推定による概算値

**！ 広義のCVD材料(Metal～他CVDまでの4項目)の  
落ち込みが顕著**

## 売上分析(半導体向け先別)



**！ロジック向けは年度の後半にかけて回復が顕著**  
**！メモリー向けは台湾ユーザー中心に低迷**

## 2. 2011年1月期業績計画

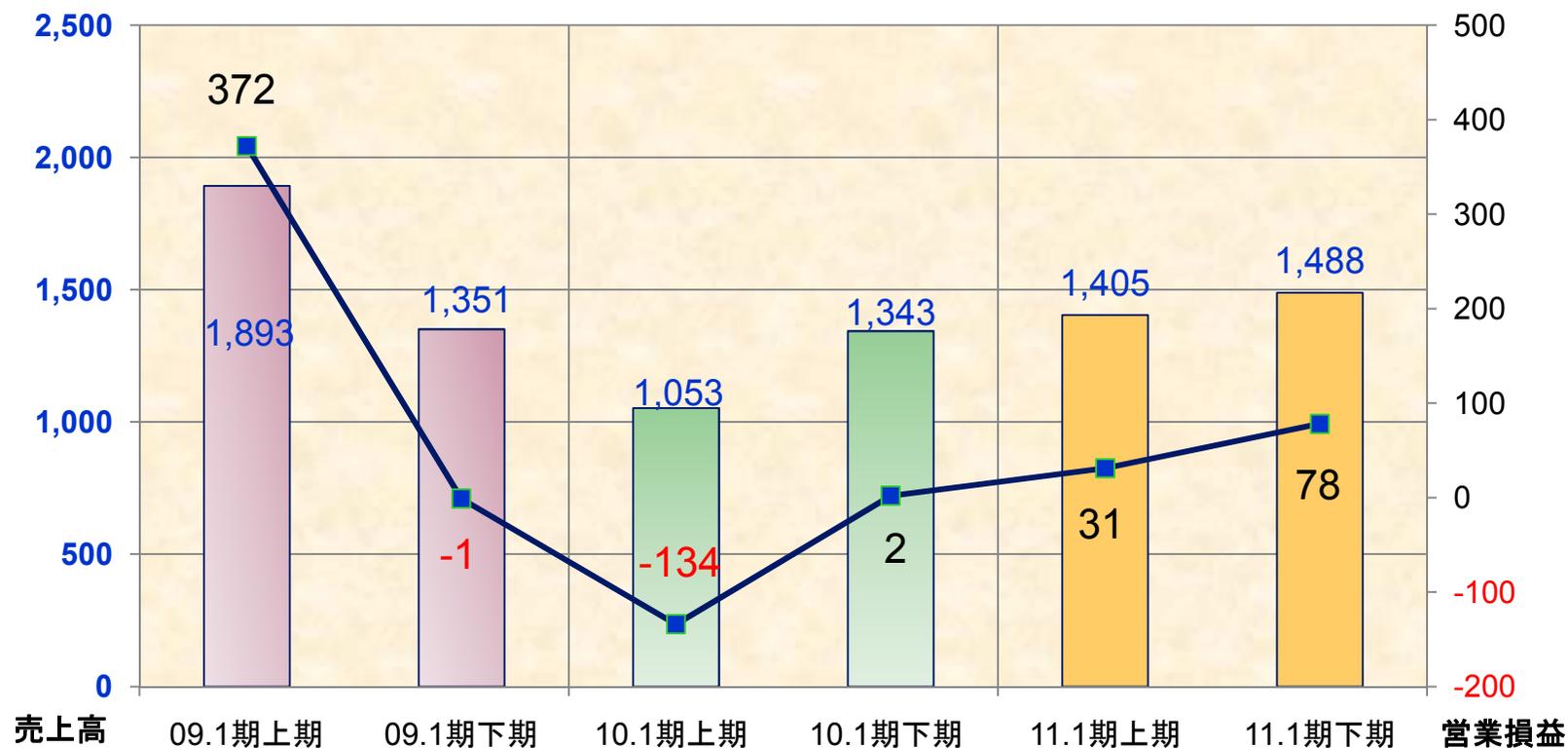
## 2011年1月期連結業績予想

	10.1期	11.1期計画	増減率
売上高	2,397	2,893	20.7%
営業利益	-131	109	—
経常利益	-168	85	—
当期純利益	-153	80	—

**！半導体向け材料拡販を中心に売上高は回復基調**  
**！売上回復・合理化策を推進し、黒字回復・復配の計画**

## 2011年1月期連結業績予想(半期毎)

単位:百万円



**！売上高は10.1期上期を底に徐々に回復傾向**

**！利益面においても10.1期下期より黒転、11.1期は上下ともに黒字回復**

## 2011年1月期 通期戦略

### 現状認識と課題

- ・半導体業界は最悪期は脱し、安定路線
- ・商品によっては数量は伸びるが単価下落の様相も
- ・太陽電池市場の更なる成長は12年1月期より

### 今期の取り組み・施策

#### 1.黒字回復・復配に向けての販売促進

- ・海外(特に台湾)向け売上の回復
- ・太陽電池向け材料の成長促進

#### 2.収支構造の改善

- ・経費削減等徹底した効率化を継続

## 2011年1月期売上増減要因

2010年1月期  
売上高  
2,397百万円

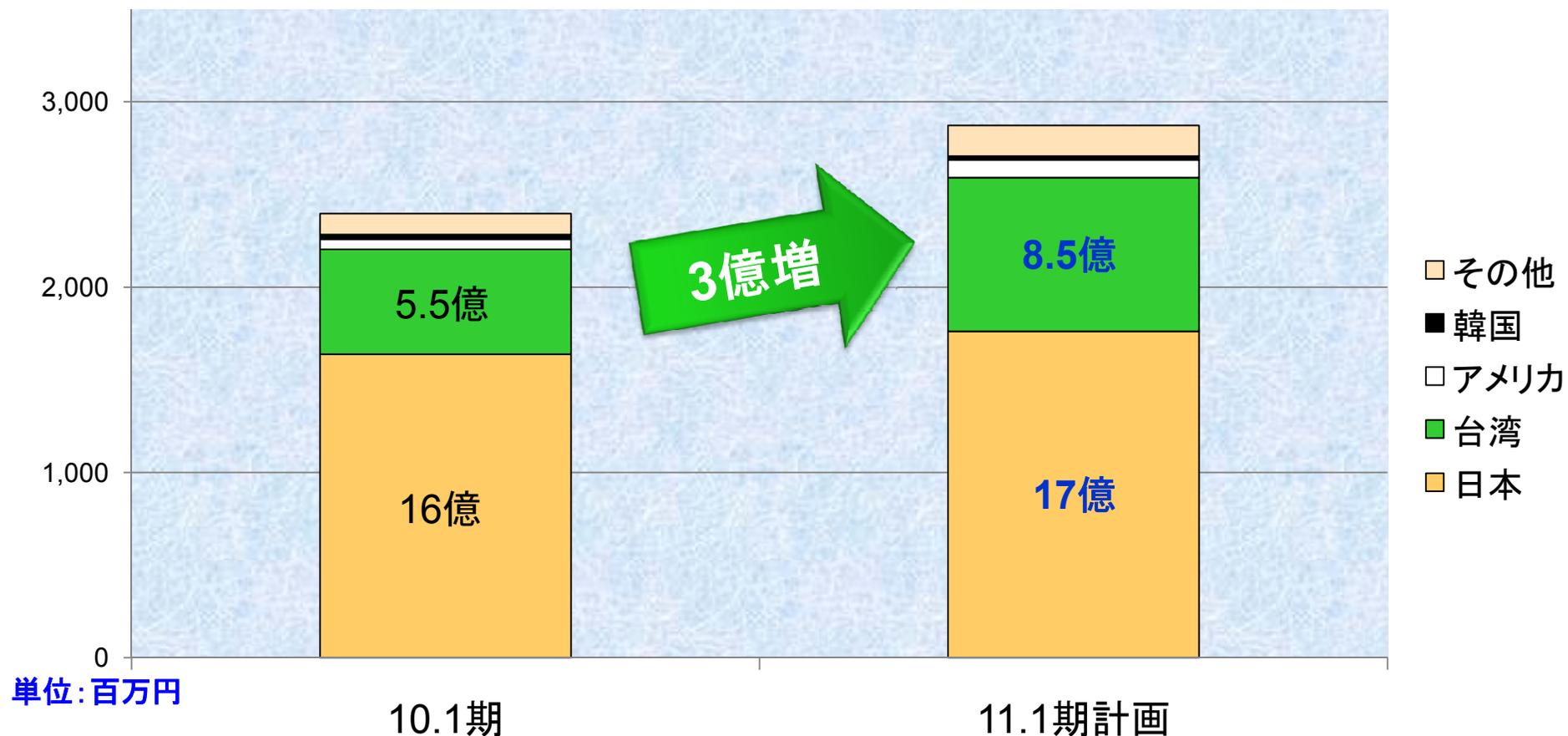
**+496百万円**

太陽電池材料増加	<b>+50</b>
半導体材料増加	<b>+550</b>
他売上減少	<b>-100</b>

2011年1月期  
売上高  
2,893百万円

**！半導体向け材料売上の回復**

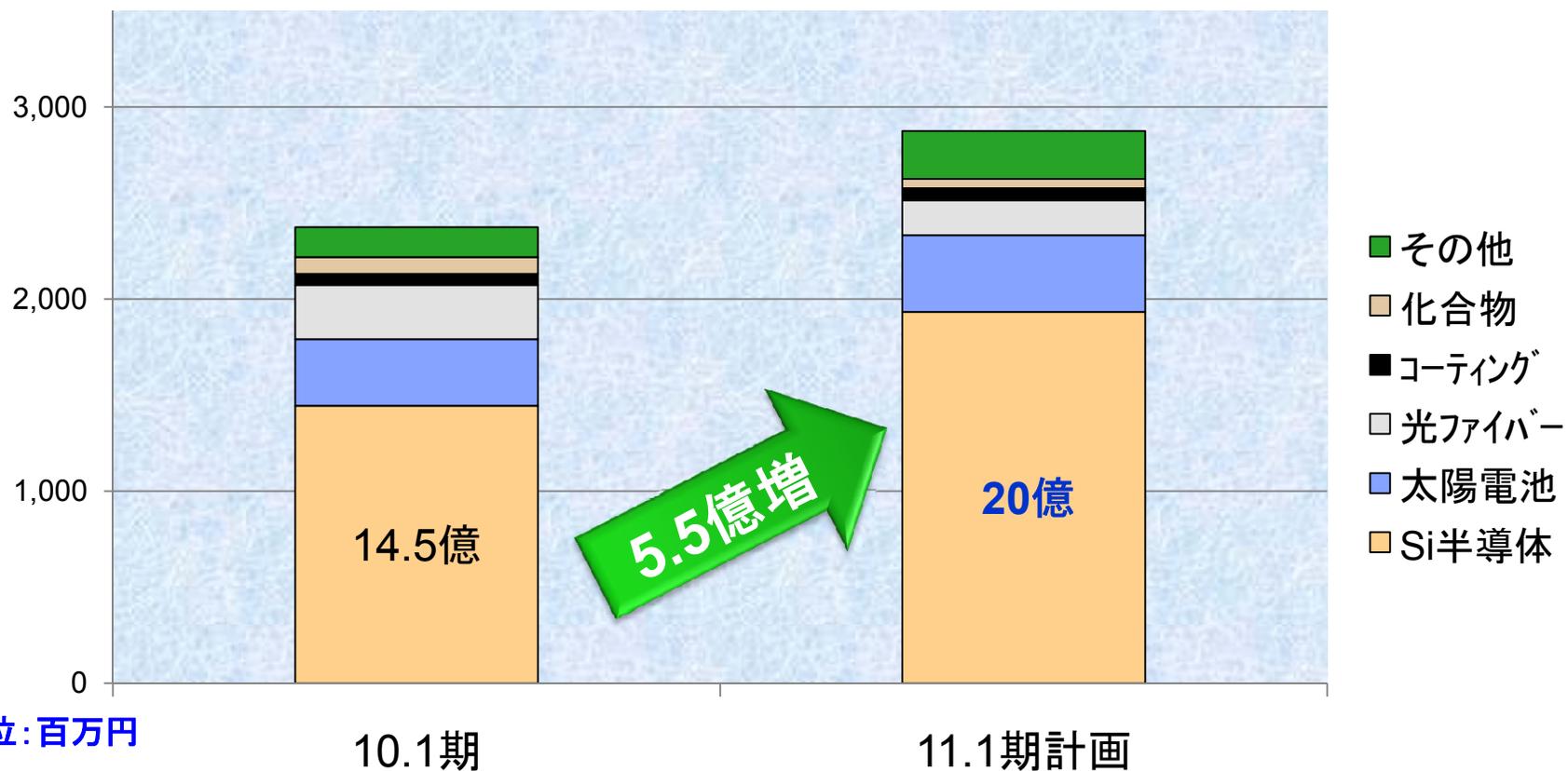
## 2011年1月期売上分析(ユーザー地域別)



※当社推定による概算値

**！台湾半導体向け売上の回復が今後の課題**

## 2011年1月期売上分析(製品用途別)

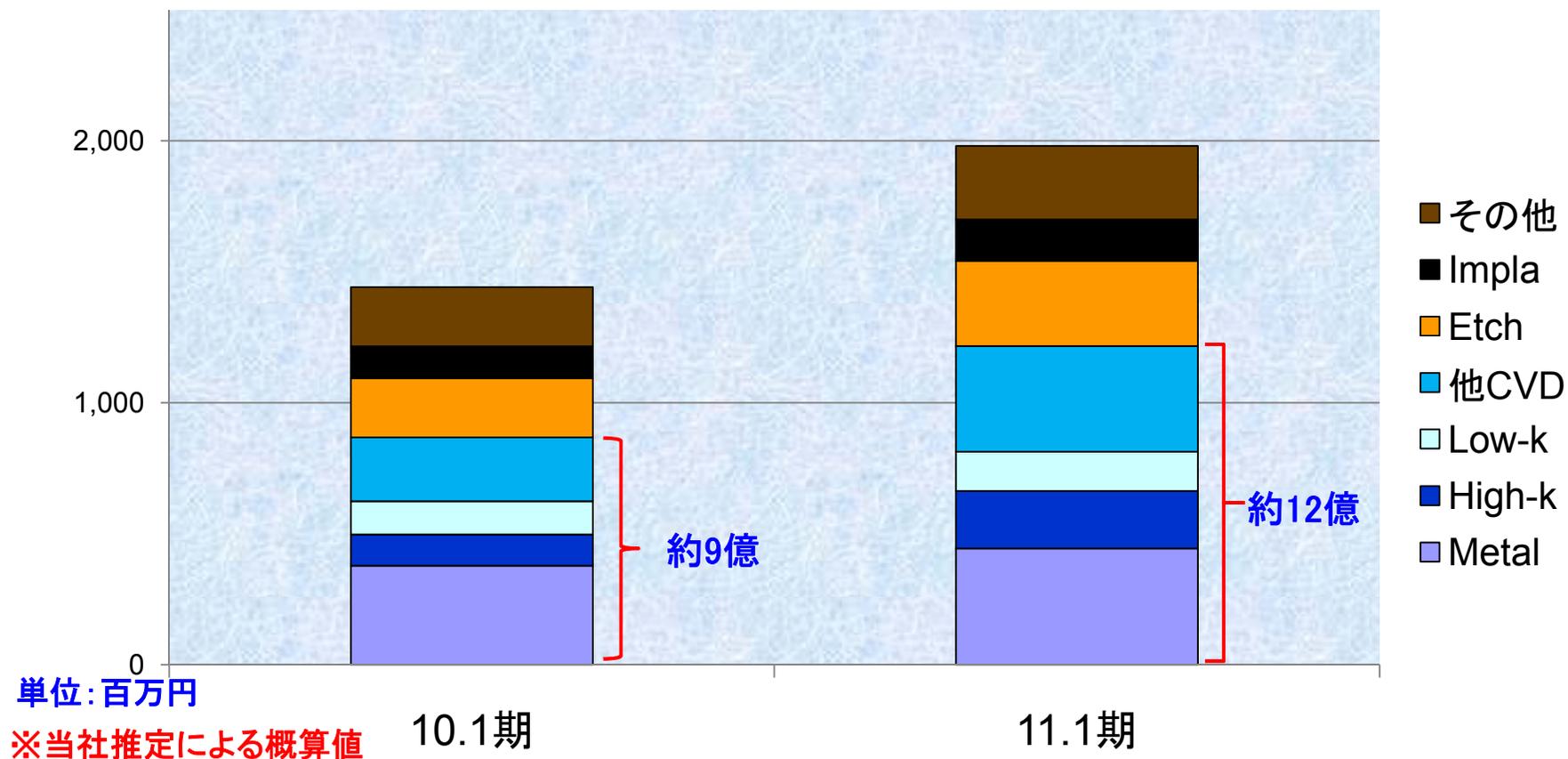


単位:百万円

※当社推定による概算値

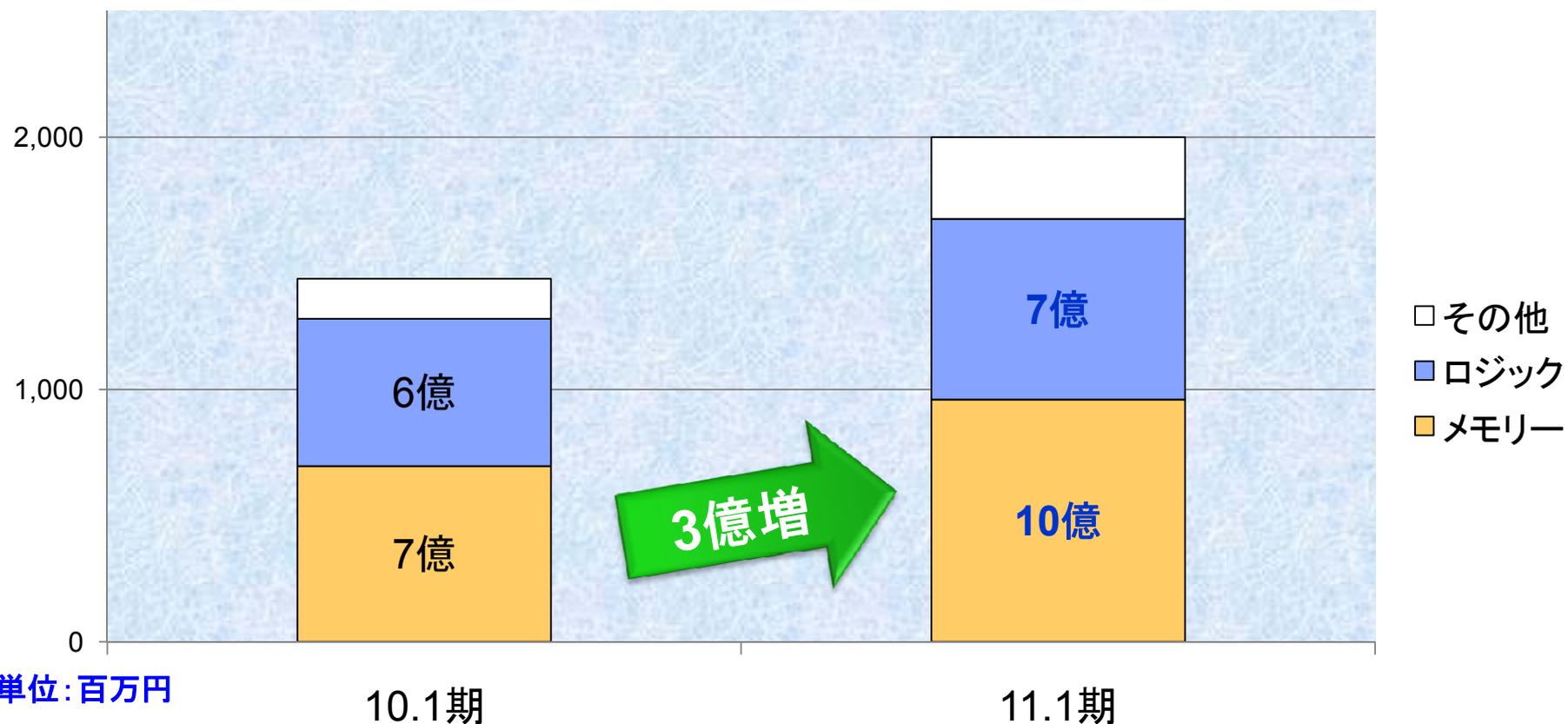
**! Si半導体向け売上の増加が主因**  
**! 太陽電池向けは若干増の見込み**

## 2011年1月期売上分析(Si半導体)



**！ 全般的に回復が見込まれる**

## 2011年1月期売上分析(半導体向け先別)



※当社推定による概算値

**！メモリー向け売上の回復が顕著**

## 2011年1月期営業利益増減要因



## 3. 中期経営計画

## 中期経営計画の前提

1. 為替は90円/米ドルを中心に推移
2. 前計画策定時より半導体市場は好転、太陽電池市場の成長は若干先送り
3. 価格下落は一部製品に織り込む

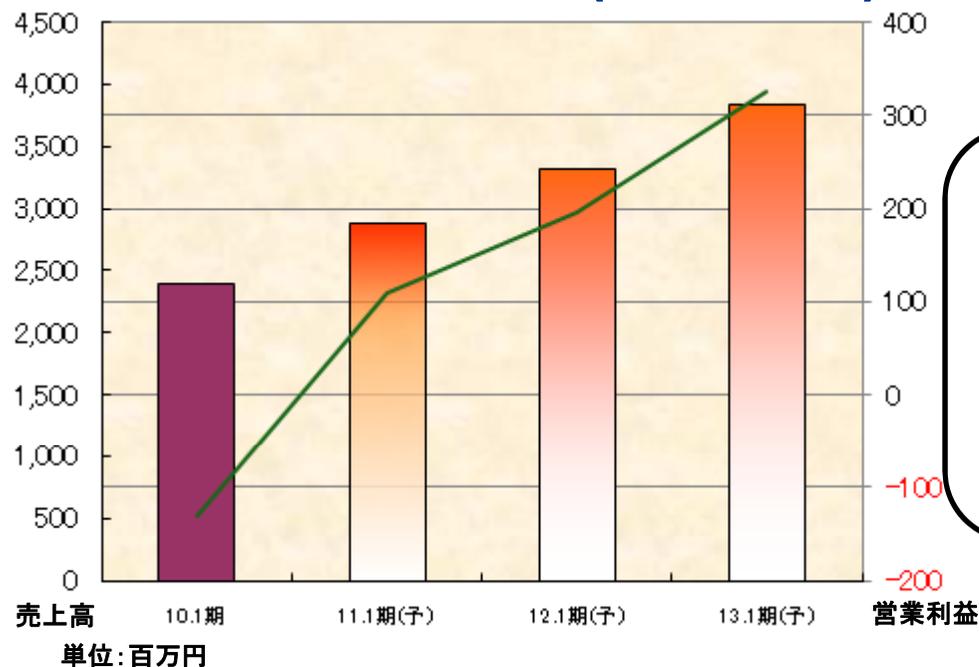
### 4. 設備投資計画及び償却費推移(概算額・百万円)

	11.1期	12.1期	13.1期
投資総額	320	370	400
償却費総額	267	300	340
参考: 当期純利益	80	96	174

投資は償却+純利益の範囲内

5. 輸送コストは若干の上昇
6. 増員計画      各期とも若干名の増員を見込む
7. 資金調達      金融機関スタンスに変化なし  
借入残高に大きな変化なし

## 中期経営計画(数値目標)



- a) 成長路線の回復を目論む
- b) 事業環境の変化を考慮し、前期策定の計画より売上・利益ともに若干の上積み

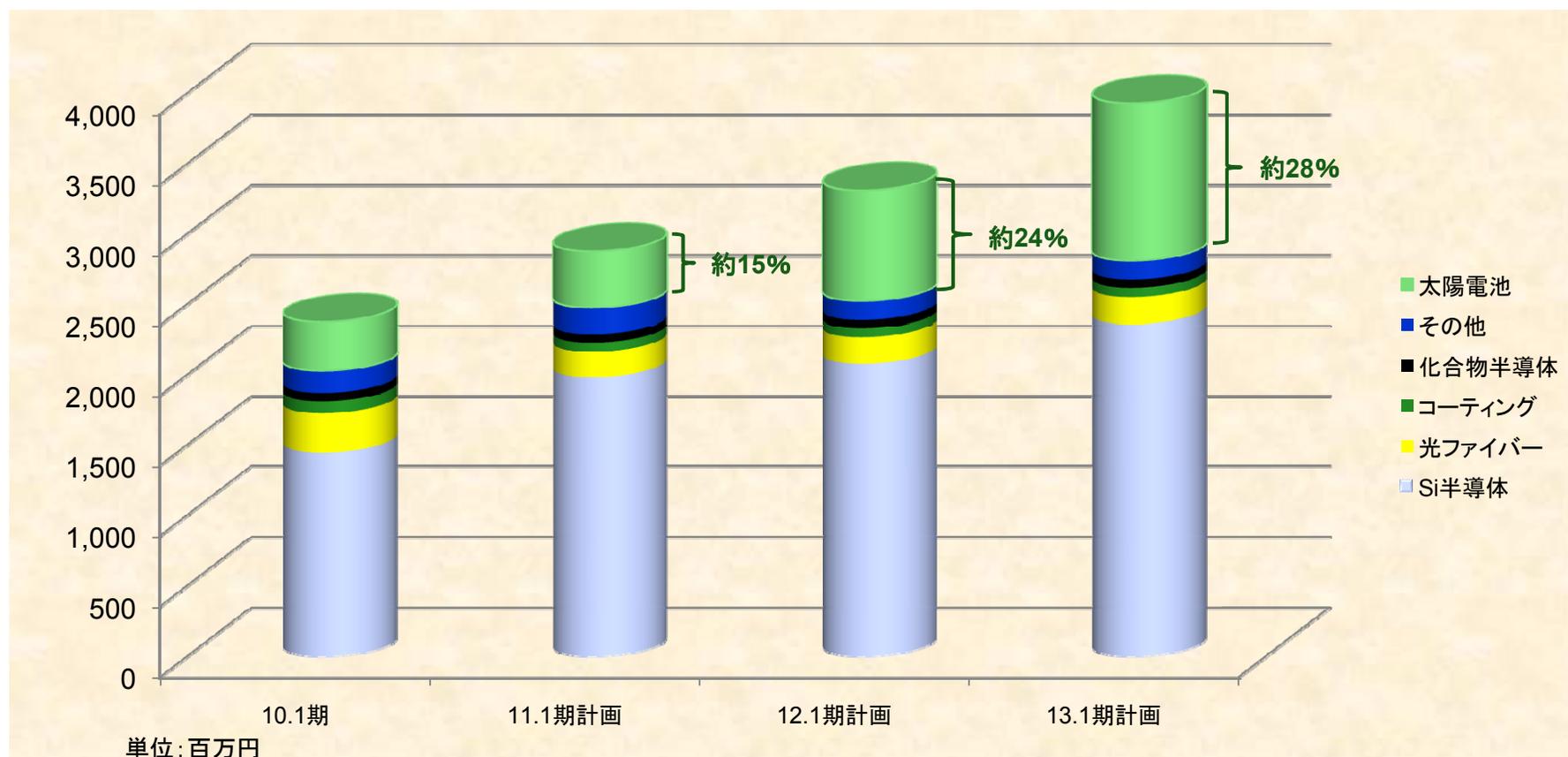
	10.1期実績	11.1期計画	12.1期計画	13.1期計画
売上高	2,397	2,893	3,330	3,840
営業利益	-131	109	195	325
経常利益	-168	85	170	300
純利益	-153	80	96	174

単位: 百万円

## 中期経営計画重点戦略：製品戦略

太陽電池材料を新たな事業の柱へ

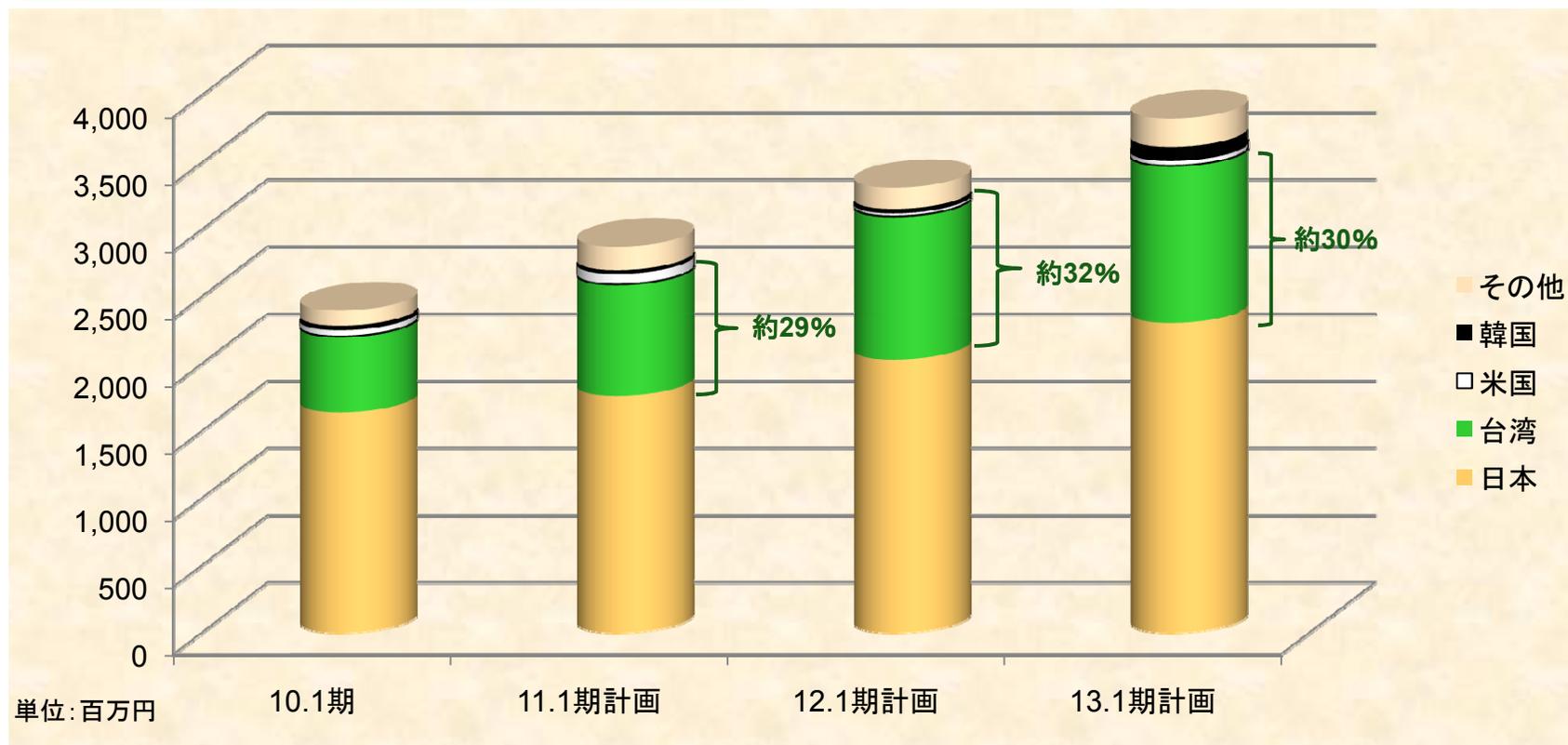
### 中期販売計画(製品用途別)



## 中期経営計画重点戦略:地域戦略

当面は国内中心に太陽電池材料を拡販  
台湾は半導体向け売上の回復を目論む

### 中期販売計画(地域別)



## 中期経営計画：達成に向けての課題

### 1. 市場環境への対応

- ・半導体市場は回復傾向も顧客(特にメモリー工場)の大規模な設備投資計画は現状では見えない
- ・太陽電池市場も拡大路線にはあるが、当初想定よりも緩やか

### 2. 差別化戦略

- ・不況によるパイの縮小→競争の激化
- ・一部の商品については単価下落が想定される

### 3. 海外競争力の強化

- ・海外への販売、供給体制の戦略的な再構築

## 中期経営計画：経営構造の改善

### 1. 経営効率の向上推進

- ・第二工場を中心に全社全部門において省力化・合理化を推進
- ・徹底した諸費用の圧縮・削減の継続

→強固な収益体制の確立

### 2. 外部との連携強化

- ・迅速な開発体制の維持・確立

### 3. 役員報酬の減額

- ・当面報酬減額の継続



お問合せ先 : [homepageinfo2@trichemical.com](mailto:homepageinfo2@trichemical.com)